1. 事業の目的

地形測量、地質調査、基本設計を行い事業実施に向けた二次事業性評価を実施する。

2. 事業の内容

(1) 事業者名

信夫山福島電力株式会社

(2) 事業名

母畑発電所事業性評価調査事業

(3) 事業期間

令和元年9月3日~令和2年2月21日

(4) 調査を実施する発電設備の概要

(交付決定番号: FA19192425)

b. 使用水量 : 0. 75m³/s c. 有効落差 : 56. 9m d. 出 力 : 316kW

3. 平成31年度の事業実施概要

- ①地形測量
- ・発電所予定地及び国有林の地形測量、縦断測量及び横断測量を行った。
- ・取水予定地及び放水路予定地周辺の河川測量及び縦・横断測量を実施した。
- ②地質調査

取水地点、発電所地点のボーリング調査を行った。

③基本設計

調査地点で発電所設計諸元の決定及び工事費用を算出し、経済性を再確認した事業性を判断するために、基本設計を行った。

④二次事業性評価

昨年度の概略設計で行った 事業性評価に今年度実施した基本設計を加味し、総合的な事業 性評価を行った。

于上方文章

-取水地点のボーリング調査-

《母畑発電所事業性評価調査事業》

4. 事業の成果等

(1) 目標の達成

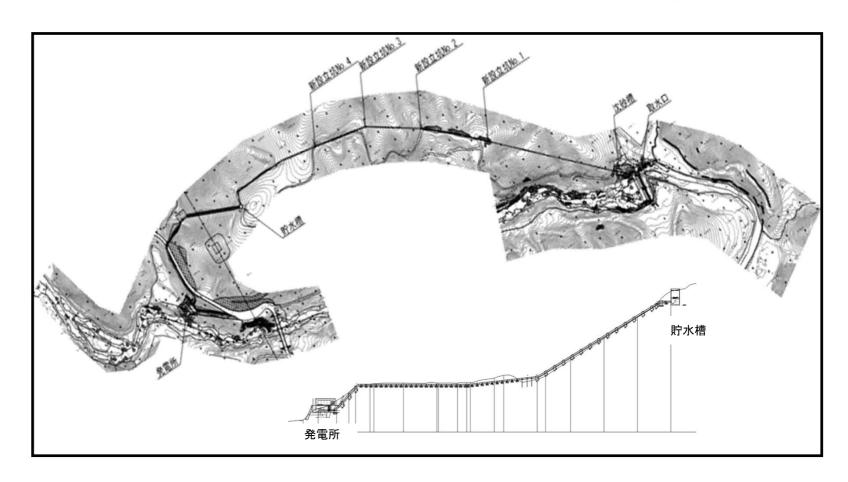
計画どおりに検討を行い、最適な規模・導水ルート、設備配置、発電所建設に係る建設費用の算定、年間発電量の算定及び最適な最大使用水量の算定を行った。また、経済性改善のために検討すべき項目を明確にすることができ、平成31年度の水力発電事業性評価調査事業の目標は達成した。

(2) 当該地点の事業化の展望や可能性の見通し

今後の事業化に向け、さらなる経済性改善項目を検討し、詳細設計を進める中で、より経済的な設備設計を行い、事業化を目指す。

(3) 当該地点の水力発電の事業性の有無

平成31年度事業の成果によって得られた年間発電量・設備利用率から水力発電の事業性は高いと判断できる。



5. 事業スケジュール

補助事業	調查內容 現地·地形測量	31年度(実績)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	¹	2	3
	地質調査 (国有林)		i	i	i	i	i	-	i		i	i	i
	地質調査			ĺ	İ	i	i	İ	İ	İ	į	Þ	Ï
	概略・基本設計			į	ļ	į	į	į			<u> </u>	ļ	
	事業性評価				ļ		-	-		-	-		
補助事業外	河川流量測定		-	+	+	+	-				!		